

谷口雅春先生の深い慈愛につつまれて、  
涙、涙、涙、心浄まる練成会となりました。



# 149 名の参加者 !! 喜びに満ち満ちて



会場となった二日市温泉「大観荘」。ありがとうございました。

令和7年11月1日から3日まで、第2回「谷口雅春先生報恩 新生九州練成会」が開催され、地元の九州はもとより北陸や首都圏等、全国から149名の参加者が集まりました。「先祖供養祭」「神想観」「実相円満誦行」「浄心行」「祈り合いの神想観」「笑いの大会」の行と、6つの講話。更に今回は岡田幹彦先生をお招きし「特別記念講演」も行われ、充実した内容となりました。「開会の挨拶」で久保文剛理事長が「谷口雅春先生のみ教えを歪みなく伝える練成会は、この「報恩練成会、だけです」とお話になった通り、参加者の皆様が自らそのことを実感する喜びの練成会となりました。

「終始、自然と涙が流れていました」、「ただ涙が出て心が洗われ明るくなりました」、「最初から最後まで感動の涙でハンカチが何枚あっても足りないほどでした」、「感謝を思い起こし、涙があふれ心もスッキリしました」等々、谷口雅春先生の深い慈愛につつまれた、涙、涙、涙の心浄まる練成会となりました。

### 希望に輝く新たな九州の出発

#### ○熊本から4組の夫婦が参加

諸熊弘毅熊本県副連合会長  
熊本の参加者は20名を超え、うち夫婦の参加者は4組。きつと家庭生活の中でも神性が磨かれる事でしよう。来年は体験を重ね、真理の輪を拡げてまいります。

#### ○ここに「真理の齋庭」が新生せり

山川洋一長崎県連合会長  
「ありがとうございます」の感謝礼拝の言葉が響き合った練成会でした。九州に「人間神の子の真理の齋庭」が新生したことを実感しました。

#### ○み教えを熱心に伝えてまいります

山口美佐子佐賀県連合会長  
母に反抗ばかりしていた私ですが、母のおかげで生長の家に出会い、たくさん喜びがあることに思い至りました。このみ教えを熱心に伝えてまいります。

#### ○神様の超高压世界で自覚が変わる

山本富美子福岡県連合会長  
「報恩練成会」は神様の超高压の世界で、自覚が変わりました。真理を実践した人の報告の場でもあり、益々喜びの渦が広がっていくことを感じました。

#### ○講話、運営、座談会、どれも感動でした

山田善満沖縄県連合会長  
どの講師もよく勉強されていて、感銘の深い講話でした。運営の方々の真摯な姿勢も良かったです。座談会では多くの救われた体験が感動的でした。

#### ○九州で「報恩練成会」開催の使命があった

吉田清美九州ブロック顧問  
「自分の使命は何か」、求めてきた答えがやっとハッキリしました。この「報恩練成会」を九州で開催すること。今迄の苦悩もその為にあったと納得できました。

#### ○誰一人残すことなく救う練成会が実現

佐藤時夫岡山県連合会長  
参加者の皆さんが喜ぶ姿に感動しました。誰一人残すことなく救うことが実現した練成会でありました。続けて岡山で聖なる使命に邁進します。

#### ○信仰生活を立て直すパワーをもらった

田中裕一山口県連合会長  
出勤時間が早朝に変わり、「神想観」を怠っておりましたが、練成会を終え信仰生活を立て直すパワーをいただきました。今こそ祈りの行を深めてまいります。



一日目夜「よろこびの座談会」より

○本もののみ教えがここにあった

田中義弘（佐賀県）

私はみ教えにふれてから、いろいろな練成会に参加してきました。今年の3月、不眠が続き救いを求め、ある練成会に行ったのですが、完全に裏切られた状態で逃げ帰ってきました。と言いますのは、講師である教化部長がギターを弾いて大きな声で歌うんです。それに女性信徒が「ワーワー、キャーキャー」と騒ぐのです。頭にガンガン響き、他の人もやかましかったと思います。誰しも言わない。もう、救われる練成会はないのかと、腹がたつて帰ってきました。

けれどこの練成会に参加させていただき、久しぶりに真理の勉強ができ、光に閉ざされた暗い暗い心に光が射して、光が充滿するような世界に感動して、涙が出て……。ありがとうございます。

参加者「感想文」より

○聖歌を口ずさみ、「ありがとうございます」を唱え夫婦で明るく日々をスタート

井田潤子（島根県）

一日目、「幸福を開く鍵―心で運命を変える―」の下講師のご講話は私のために話して下さっているのではないかと思うくらい心に沁みました。個人指導もしていただき、「感謝できる事から感謝していきましよう」のお言葉に「ありがとうございます」の一万遍通行を決意しました。まだ、始めて数日ですが「ありがたい」の感謝の思いが溢れ出す日まで、頑張ります。

井田光晴（島根県）

入院治療を前に神癒祝福祈願書を腹巻に入れての参加となりましたが、大安心のもと、あつという間の三日間でした。一番前の席にて真理にどっぷりつかり、新生させていただきました。

聖歌歌詞一つ一つに感動し、帰宅してからも絶えず口ずさんでいます。一緒に参加した家内も一日中、感謝誦行「ありがとうございます」を唱え、明るく日々をスタートさせています。素晴らしい練成会でした。

○「先祖供養祭」の

今まで感じたことのない素晴らしさ

北林恭子（福岡県）

家庭の大調和を願って練成会に参加しました。初日の「先祖供養祭」は、今まで感じたことのない素晴らしさでした。人生の根っことなるご先祖様を大事にすることの尊さをもっと実感したいので、これから毎日「聖經読誦」を実践していきます。

又、運営の方々がニコニコと笑顔でお世話して下さいる姿に感動しました。次回はぜひ運営の立場で参加させていただきたいと思います。

○「浄心行」で生命の洗濯ができました

奥村市郎（長崎県）

昨日の「浄心行」、本日の「祈り合いの神想観」では、本当に泣きました。嬉しかったです。祈り、真理の波動がビンビンきました。感動でしびれました。

今の世の中で、本当に泣き、本当に感動できるのは谷口雅春先生のみ教えのおかげです。生命の洗濯ができました。

○「祈り合いの神想観」で新たな出発を決意

水町由美子（佐賀県）

「祈り合いの神想観」で、父母への感謝、自分の生命への感謝で、谷口雅春先生の願いに報いたい、自分の生命を使いたい思いが湧き上がり涙が溢れました。練成会の中で、自分の潜在意識が、自分が変わることを恐れていた気がつきました。その不安が解消され、

佐賀県連合会長を中心にメンバーと共に新たな出発をいたします。

○昭和天皇の御存在があったからこそ

石橋哲理（福岡県）

三日目、岡田幹彦先生のご講演にとても感銘を受けました。昭和の時代、戦後は昭和天皇の御英断があった初めて存続が可能となったことを教えられました。敗け戦をおさめることは非常に難しい。国が大混乱のうちに消滅しかねない可能性だってあり得たと思う。

そんな中で、ポツダム宣言の受諾、マッカーサー元帥との会見、全国の御巡幸と、終戦から独立までの昭和天皇の御活動は物凄いものがあつたことを知りました。我々一般国民は、戦後を当たり前のよう生きてきたが、決して当たり前ではない時代を生き得たことを改めて思い、それは昭和天皇の御存在があつたからこそであることを知らねばならないと思いました。

中学校の歴史の授業では、この昭和天皇の御事績を国民の常識として知らしめる必要があると痛感した次第です。

○個人指導で大肯定の真理の言葉に救われる

北林幹雄（宮崎県）

この練成会で谷口雅春先生の真理の言葉のシャワーを身に余るほど浴びさせていただき、救いは「真理の言葉」からもたらされると実感させていただきました。

そして久保講師より個人指導を賜り、私の病が「国の病を一身に背負った結果である」との大肯定の真理の御宣言を賜りました事が、何よりの救いでありました。家内の病も「夫婦一体の結果である」とのお言葉は家内にとって「いただいた病は返上すればよい」との諦念をいただき究極の救いとなり、その自覚によって帰郷後、病からの脱出に繋がりました。

又、運営においても参加者お一人お一人に真理の言葉が染み入るように配慮されているご様子は、まさに最高の練成会と思えた次第でございます。

練成会は大学練成会が最後で、50年近くも参加していなかった事を思いますと、運命とは申せ真に勿体ないことをしてしまいました。谷口雅春先生の「人類無罪宣言」「人類光明化」を実現すべく、多くの同志の皆さんと手に手をとって、前進したいと思います。

体験発表

昨年の第一回に参加された今橋紀子さんが、練成会後の神癒と奇蹟の体験を、見違えるような元気なお姿で発表。3日目の「笑いの大会」では、見事優勝されました。

こんな日がくるなんて、幸せよね

今橋 紀子（福岡県）

私は去年の10月8日まで動悸がひどく、歩くことも困難で精神科に入院していました。8年ほど入院を繰り返して、病名はパニック症とうつ病でした。入院中の9月頃、舌癌の疑いで九大病院を受診するために退院をいたしました。体重は30キロ台まで落ち、歩くこともままならない状態でした。舌癌の疑いは晴れましたが、相変わらず動悸はひどく、家の中で寝て過ごしました。

11月に開催される練成会とはとても行ける状態ではありませんでしたが、安東先生が来られるから死ぬ気で行こうと、妹に強引に誘われ参加しました。しかし、動悸がひどく休息室で休んでばかり。安東先生のご講話も会場の後ろで横になって聴きました。そんな中で、安東先生の個人指導を受けることができました。身体の状態や心の中まで自然に話すことができました。とても楽

になりました。その時、「先祖供養」を続けること、「続真理の吟唱」の「龍宮無量寿国に入る祈り」を誦すること

更には、練成会に連れてきてくれ、共に行を続けてきた妹が、世界のフラワーデザイン功績が認められ、福岡県から「優秀技能者表彰」を受けることになりました。全て谷口雅春先生のみ教えのおかげです。これからも二人で行を続けて参ります。



27名の招霊祭員により喜びにつつまれた「先祖供養祭」（祭主 前原幸博・1日目）



神の慈愛につつまれ潜在意識の底まで浄まった「浄心行」（先導 國弘昭義・2日目）



如来が如来を拝み合う悦びに涙あふれた「祈り合いの神想観」（先導 久保文剛・3日目）



「至誠と慈愛の人昭和天皇を仰ぐ」岡田幹彦先生の「特別記念講演」（3日目）



「笑いの大会」優勝